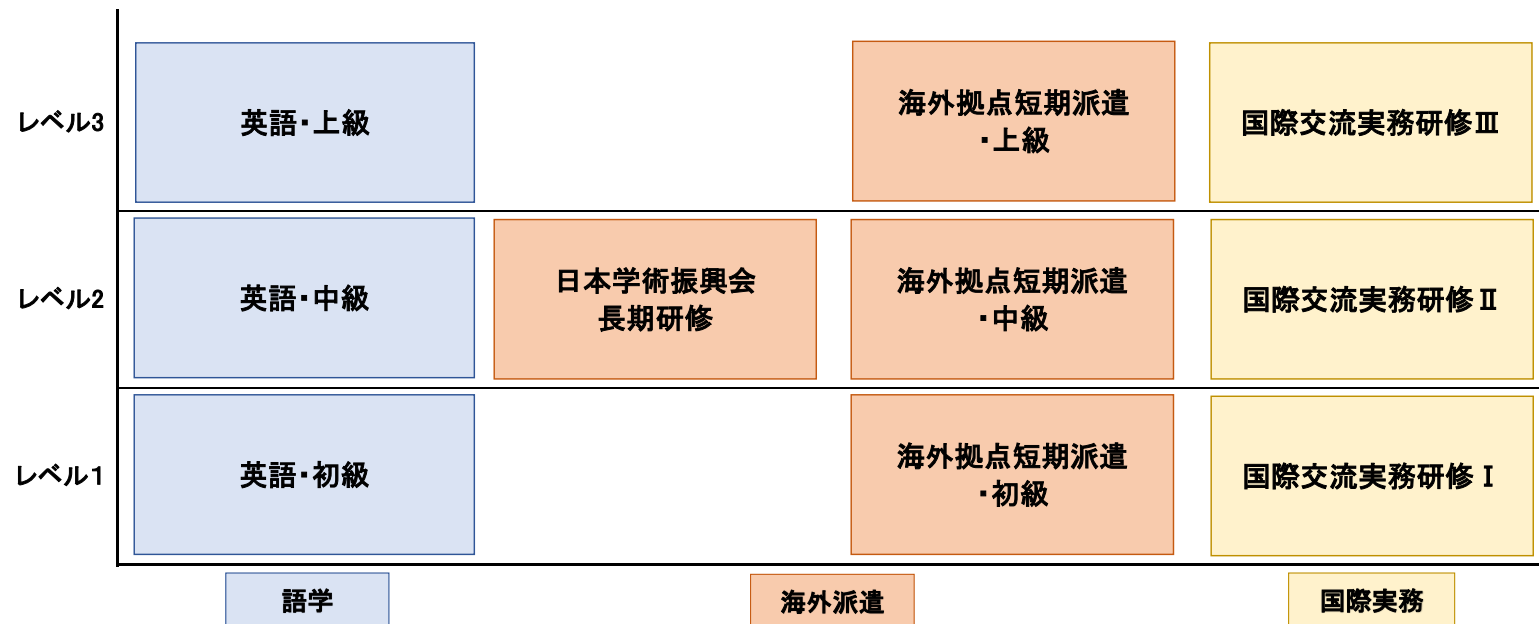


研修体系図 _ 専門別研修【国際系】

○専門別研修【国際系】

目的: まず第一外国語として、世界の共通言語である英語の習得を目指す。さらに、第二外国語として中国語を習得するなど語学能力の幅を広げていく。また、自学自習への動機付けを図りながら、段階的に英語運用能力を強化すると共に、オンザジョブ・トレーニングにより、業務で必要とされる企画力や交渉力、運営力を向上させる。さらには、国際交流に必要とされる異文化理解や社交性、専門知識も併せて身につけることも目指したい。



●レベル1

語学レベルでは、海外出張先でも、道を尋ねる際に相手にゆっくりと話してもらうことで、目的地までの道のりを理解することや、海外からの訪問者の案内や接遇ができるレベル。【目安;TOEICスコア700点】
業務レベルでは、外国人の受入手続き等基礎的な業務を滞りなく実行できることや、窓口業務ができるレベル。

●レベル2

語学レベルでは、会議の案内や通達、社内文書などを読んで理解することや、自身の仕事に関わる日常業務のやり方を説明することができるレベル。【目安;TOEICスコア800点】
業務レベルでは、外国人の受入や教職員・学生の渡航に関して指導できることや、学内プロジェクト(会議)を管理運営できるレベル。

●レベル3

語学レベルでは、英語のページからの情報収集や、職場でのトラブルに関わる議論ができるレベル。日常会話は完全に理解でき、応答が早くスムーズにやりとりを続けることができる。

流暢さには個人差があるが、意思疎通を図る上での支障はないレベル。【目安;TOEICスコア900点】

業務レベルでは、グローバル化に関する施策を企画立案できることや、海外連携大学との交渉ができるレベル。